



くまのみ通信

-中谷外科病院広報誌-



中谷外科病院の理念 - 患者様とともに歩む



セミ、とりたい...



第45号
2018年8月発行

発行元
医療法人吉備会
中谷外科病院
患者サービス向上委員会
委員長 中谷紳

〒706-0001
玉野市田井 3-1-20
TEL 0863-31-2323
FAX 0863-31-8486

ホームページ
<http://www.nakatani-hosp.jp>
Eメール
Goiken@nakatani-hosp.jp

外来診療時間
月～金 9:00 ~ 12:00
15:30 ~ 18:30
土 9:00 ~ 12:00

<中谷外科病院 基本方針>

- I: 常に患者様の立場に立ち、行動する。
- I: 消化器内視鏡、大腸肛門病の専門病院として最新・最善の医療を提供する。
- I: 多職種によるチーム医療の充実をはかる。
- I: 在宅復帰を支援し、地域に開かれた医療を行う。
- I: 職員同士の和を重視し、思いやりのある医療を実践する。

院長挨拶



この度の西日本豪雨では、倉敷市真備町はじめ各地で多くの尊い命が失われました。心よりご冥福をお祈りするとともに、大雨で被災され、長引く猛暑の中で辛い生活を余儀なくされている全ての人々にお見舞い申し上げます。災害から1ヶ月が経過しましたが高齢の方々を中心に熱中症など深刻な健康被害が後を絶たず、当院では職員一同全力で治療やケアにあたらせていただいております。

開設52周年となるこの厳しい夏、私たちはこれまで支え育てていただいた皆様方に感謝し、へこたれることなく今すべきことを一つ一つ行うことで地域医療に貢献してまいります。

明けない夜はありません。
頑張ろう、岡山！ 頑張ろう日本！

平成30年8月1日
院長 中谷 紳

院内勉強会

腸管の栄養素と腸内フローラについて

日時: H30年6月20日 14時～
対象: 全職員
場所: 5Fメバルサロン
講師: 外部講師

腸管は栄養素の吸収および、生体防御に欠かせない腸管免疫の役割を担っています。当院では下痢や便秘でお困りの方に腸管機能を正常に保つため、水溶性食物繊維 PHGG(グアーガム分解物)をご案内することがあります。

今回は PHGG を多く含む『サンファイバー(株)太陽化学』について医師・看護師・その他コメディカルを対象に勉強会を開催しました。

PHGG は水溶性食物繊維の中でも特に腸内細菌による発酵性が高く、短鎖脂肪酸産生能も高いことが分かっています。それにより腸内フローラを改善し下痢・便秘どちらにも対応し便性を正常化させることが注目されています。

管理栄養士 松本英子

病棟における食中毒対策

日時: H30年5月30日 13時45分～
対象: 全職員
場所: 5Fメバルサロン
講師: 外部講師

6月に入り、気温、湿度の上昇に伴い、食中毒の発生しやすい時期になりました。今回、『サラヤ(株)』による食中毒の講習会で、食中毒の起炎菌から食中毒対策として、手指衛生、排泄物、嘔吐物の処理方法、PPEの着脱手順等、詳しく勉強する事ができました。

病棟における食中毒対策の一番は、医療従事者の手を介した伝播予防で、感染対策の基本は手指衛生です。患者さんと自分自身を守るため、職員全員、手指衛生の励行に努めていきましょう。

感染委員会 看護師 小林 加世子

『褥瘡ケア勉強会』

日時: H30.8.2(木)13:30～14:30
場所: 5F メバルサロン
参加人数: 7施設 22名
(看護師5名 介護士11名 その他6名)

内容: ①褥瘡の基本とケア: 褥瘡認定看護師 三宅 隆子
②安全に食事をとるためにできること: 管理栄養士 松本 英子
③ユニ・チャームより新製品(褥瘡用パット)の紹介

今回、介護施設職員向けの勉強会を開催しました。



褥瘡の原因、発見方法、対応方法、完治までの過程等 実際の写真を参考に褥瘡の理解を深めて頂きました。栄養からは圧力鍋と普通鍋で調理した野菜の食べ比べや、とろみ茶を試飲していただき実際に感じて頂きました。ユニ・チャームの新製品 褥瘡対応のパッドも実物にふれ、さらさらになる構造や褥瘡が治癒した実例を見て

頂きました。みなさんからいただいたアンケートでも、ほとんどの方からよかった、理解できたと評価いただきました。『悪化した褥瘡の写真を初めてみました。』『褥瘡の発見方法がわかった。』『洗浄の仕方や完治するまでの過程をみる事ができた。』『圧力料理を導入していて、今はミキサー食や刻み食をしていないことがすごいと思いました。』『その人に会ったとろみが必要。強ければよいというものではない』病院は治療するだけでなく、少しでも長く慣れ親しんだ環境で安心して生活していただけるよう、病気の知識や対応方法を介護者に伝えていく役割も担っているのではないかと思います。皆さんにとって相談しやすい身近な病院を目指してこれからも頑張っていきます。



医療相談員 山崎 早苗

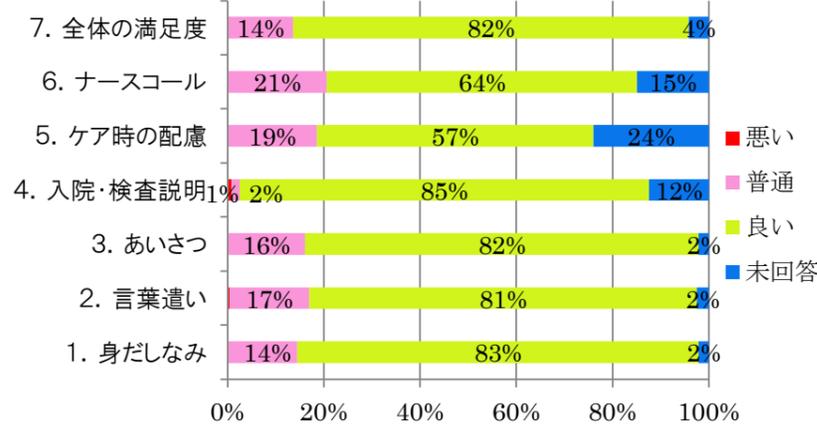
退院時アンケート

当院では、H25.5より退院時アンケートを行っていて、アンケートから得られた貴重なご意見が、環境整備や各部署の改善に繋がっています。また、検査前や入院前の説明は説明用紙の導入、スタッフの努力により以前より評価が大きく上がっています。今後も患者様の声を大切に、より充実したアンケートを行っていきたく思います。下記がH29年度のアンケート結果になります。

H29短期入院アンケート結果 (7日以内の入院)



H29年 入院アンケート結果



新 人 紹 介



薬剤師 ・ 永山 令子(ながやま れいこ)

趣味 : お米作り
旅行

一言 : 現住所は児島ですが、出身は荘内です。病院での勤務経験はありますが、慣れるまではご迷惑をおかけします。よろしくお願いいたします。

スタッフのひとりごと

理学療法士になり2年目に突入しました。

仕事以外にも何か挑戦したいと思い「おかやまマラソン」に参加することにしました。マラソン初心者で、ファンラン(5.6km)を完走できるかどうか危ういですが…いつも形から入るタイプの私は早速シューズやウェアを買い揃え準備はバッチリ整いました。あとは、膝の負担を軽くするために体重を落とし、走る練習をするのみです。楽しみながら制限時間内に完走できるように頑張ります。

理学療法士 皆木 ひかる

入院患者家族連絡ノート

電子カルテ導入から1年が経過しました。診療記録、看護記録、ケアシート等の充実により、職員間の意思統一を図ることが出来ているようです。一方患者様やそのご家族とのコミュニケーションの場が希薄になっていると感じることがあります。そこで連絡ノートを作ることになりました。対象となる患者様は、ご自身の意思を言葉に出せない方です。入院生活を送られる中でのちょっとしたエピソードやケア内容をノートに書き留め、患者様、ご家族へ届けるものです。スタッフからの一方向のみではなく、ご家族からの要望や感想も書いて頂いています。その中より、私達スタッフがご家族から励まされるケースがありました。一部抜粋しました。

看護師長 新田 照美

Aさん

6/15(金)
姉〇〇子さんを優しく丁寧に世話して下さいありがとうございました。いつも音楽を聴かせて下さる心遣いに感謝しています。
ご家族様より

6/26(火)
「CDが止っていたのでかけましょうか」と声を掛けると『うん』と返事をされました。本当に音楽が好きなのですね。
看護師より

7/4(水)
おしりの右側に小さなあたりができています。早く治るように圧迫をさけて観察をしています。
看護師より

Bさん

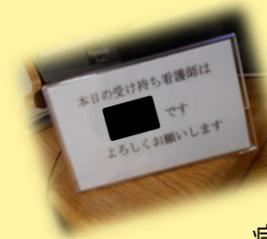
7/4(水)
いつもお世話になりありがとうございます。これまで真面目に生きてきた父です。看護師さんにそれが伝わるらしく皆さん親切にして下さりとても嬉しいです。
ご家族様より

7/7(土)
膝や肘の痛みも少しずつ良くなってこられており、「もう少し良くなってお家に帰りましょう」と声を掛けると笑顔で頷かれました。
看護師より

7/24(火)
前日車イスにてお昼の食事に行ってみましたが、訴えあり、ベッドの食事を希望されましたので本日よりベッドでの食事に戻しております。右肘、右膝の動きは良くなっており痛みも軽減しています。ご本人様の要望をうかがいながらリハビリを続けさせていただきます。
リハビリより

看護師受け持ちネーム札

昨年秋よりその日の受け持ち患者様の元へ担当ネーム札を置き、勤務開始・最後に挨拶に行く取り組みを開始しました。患者様より、「その日の担当看護師の名前が分かってより親しみを感じる」等、とても良い評価のコメントを多数頂戴し好評です。患者様とのコミュニケーションツールの一貫として今後も継続していきたいと思っております。



病棟看護師 二宮 紗織